FAXNEWS
横浜市会　ほっとライン

日本共産党横浜市議団
電　話 045(671)3032
FAX　045(641)7100

№272　2009年7月6日(月)

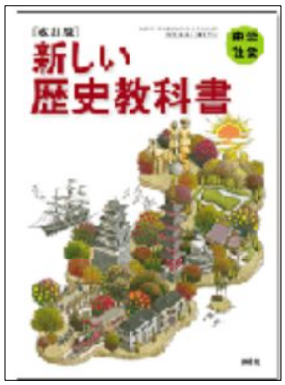
戦争賛美の歴史教科書　横浜の子どもたちに渡さないで！

８月４日の横浜市教育委員会で、2010年度2011年度に中学校で使用する教科書の採択が行われる予定です。戦争賛美の「新しい歴史教科書をつくる会」の歴史教科書を含む中学校教科書を横浜の子どもたちに渡すなと、市民が動き出しました。

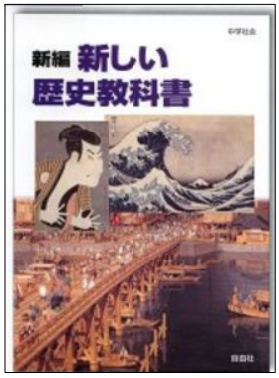
教育委員に意見を出そう！ ～子どもと教科書を考える横浜市民の会～

「つくる会」のメンバーが執筆した中学歴史教科書は、４年前から発行されている扶桑社版と今年検定合格した自由社版の２つ。内容は80%が全く同じで、本文で変わっているのは約13から14%に過ぎません。どちらも今回、採択の対象になります。

４年前の教科書取扱審議会の答申調査で、扶桑社の教科書は「『わが国の歴史に対する愛情』を特に重視するという基本方針で編集」と評価され、８社の歴史教科書から、適切であると思われる候補として選ばれた６社の中に入っていました。結果的には採択されませんでしたが、今回採択されない保証はありません。



上が扶桑社発行の教科書
下が自由社発行の教科書



また、前回の教科書採択時に扶桑社の教科書を強く推した今田氏(当時は教育委員)が、今の教育委員長であることも大問題です。

「子どもと教科書を考える横浜市民の会」では、「つくる会」の歴史教科書を採択しないよう、６人の教育委員に意見を出そうと呼びかけています。同会によれば、教育委員会あてに意見を出しても、意見が寄せられたとの報告が事務方から委員会で述べられるだけなので、委員個人名宛に意見を出すことがポイント。６人の連名でもＯＫということです。

◎教育委員の氏名　今田忠彦、小濱逸郎、
吉備カヨ、野木秀子、中里順子、田村幸久
◎あて先
横浜市中区港町1-1　横浜市教育委員会総務課
FAX 045-６６３-５５４７

7月21日　緊急！　教科書問題シンポジウム

「危ない教科書を横浜の子どもたちに渡したくない」という思いの人たちが集まって実行委員会をつくり、緊急の教科書シンポジウムを開きます。

テーマは「みんなで考えましょう！“戦争賛美の教科書”を子どもたちに渡さないために」。

内容は、①扶桑社、自由社の歴史教科書のどこが問題なの？　②教科書は誰がどのように選ぶの？　③“戦争賛美の教科書”扶桑社が使われるようになった東京・杉並区はいまどうなっているの？…などのお話を聞きながら、みんなで教科書のあり方を考えてみましょうというものです。

実行委員会では、「アジア諸国から抗議があいつぐ扶桑社と自由社の歴史教科書のいずれかが採択されて、横浜の子どもたちがそれで学ぶなど許されましょうか？！」と、広く市民に参加を呼びかけています。

◎教科書問題シンポジウム、
７月２１日(火)午後６時３０分より
横浜市開港記念会館１号室
(実行委員会の連絡先 045-212-5753)